

## 一般の部 大賞

日本一暑い街、多治見。我が社はここで鋳物鋳造を生業とする小さな街工場である。真夏の最高気温が38℃を連日超して危険指数が最高値でも、夏は暖房冬は冷房の工場で、社長はじめ若人四人が一生懸命働いている。

千五百度で溶けた鉄が放つ温度は殺人的。立っているだけで汗がおちる真夏でも、型を造る黒い砂で顔も体も真黒になりながら、50℃はある現場の中で黙々と作業をくり返す。そんな姿に頭が下がる思いです。

作り出す製品は工作機械の心臓部。できあがった品を見てもそれがどんな風にして機械の一部に組みこまれるか、素人目にはわからない。けれどその機械が作り出す物は、世界の半導体。今の日本の最先端、デジタル化を支えるのは、小さな街工場、過酷な現場で毎日コツコツ働いている真黒な顔の青年達だ。厳しい現場を逃げ出さず、一生懸命働いてくれてありがとう。黒い顔の君達が、今の日本を支えているのだと自分を誇りに思っしてほしい。

愛知県春日井市

くまがい けいこ  
熊谷 桂子さん